

報道関係者各位

平成 25 年 4 月 8 日
株式会社ブロードバンドタワー

**ブロードバンドタワー、クリエイションライン社と EMC アイシロン スケールアウト NAS を
利用した Hadoop プラットフォームを構築。4 月より顧客にサービス提供開始**
～ 増加するビッグデータ解析ニーズに対応 ～

株式会社ブロードバンドタワー(本社:東京都千代田区、代表取締役会長兼社長:藤原 洋、以下当社 コード番号:3776 ジャスタック)は、クリエイションライン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:安田 忠弘、以下クリエイションライン)と共同で EMC ジャパン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:山野 修、以下 EMC ジャパン)が販売する「EMC アイシロン スケールアウト NAS」に、Hadoop※を直接実装したプラットフォーム基盤の共同検証を行い、2013 年 4 月より、本プラットフォーム基盤の提供を顧客へ開始します。また、今回のプラットフォーム基盤検証に加え、増加するビッグデータ解析ニーズに対応するために、新ソリューションの共同開発を目的として、当社とクリエイションラインとの間で業務提携を行うことを発表します。

■ 本提携の背景

<市場背景>

2012 年はビッグデータビジネス元年と言われるように、昨年からビッグデータへの対応(マネジメント)について非常に注目をされております。2012 年 7 月に産・官・学で、日本の再生にむけて、また総力をあげ、あらゆる情報を結集し、情報と技術の総あらいのなかで、新たな融合産業を創出を目的として当社内にビッグデータ総合研究所を新設し、ビッグデータの活用についてセミナーや勉強会を通じて啓蒙、研究を行なって参りました。

矢野経済研究所の発表によると、2020 年度にはビッグデータ市場は 1 兆円を超えるといわれており、特にビッグデータを分析しマーケティング等に活かすことに注目が集まっております。

<当社としての取り組み>

このような市場背景や、ビッグデータ総合研究所の活動結果を受け、当社としては、ニーズの高いビッグデータの分析に対応をするため、予めより当社で販売を行ってきたビッグデータの保存・蓄積に定評のある「EMC アイシロン スケールアウト NAS」と、大量のデータを手軽に複数のマシンに分散して処理できるオープンソースの「Hadoop」の実装についてクリエイションラインの技術支援を受け、サービス化を目的に検証を行ってきたことで、一定の成果を得ることができました。

<本プラットフォームの意義>

スケールアウト型 NAS である「EMC アイシロン スケールアウト NAS」製品が HDFS に対応した事により、従来の IA サーバー等による Hadoop 基盤を新たに構築せずに、ビッグデータ解析が可能となります。また、

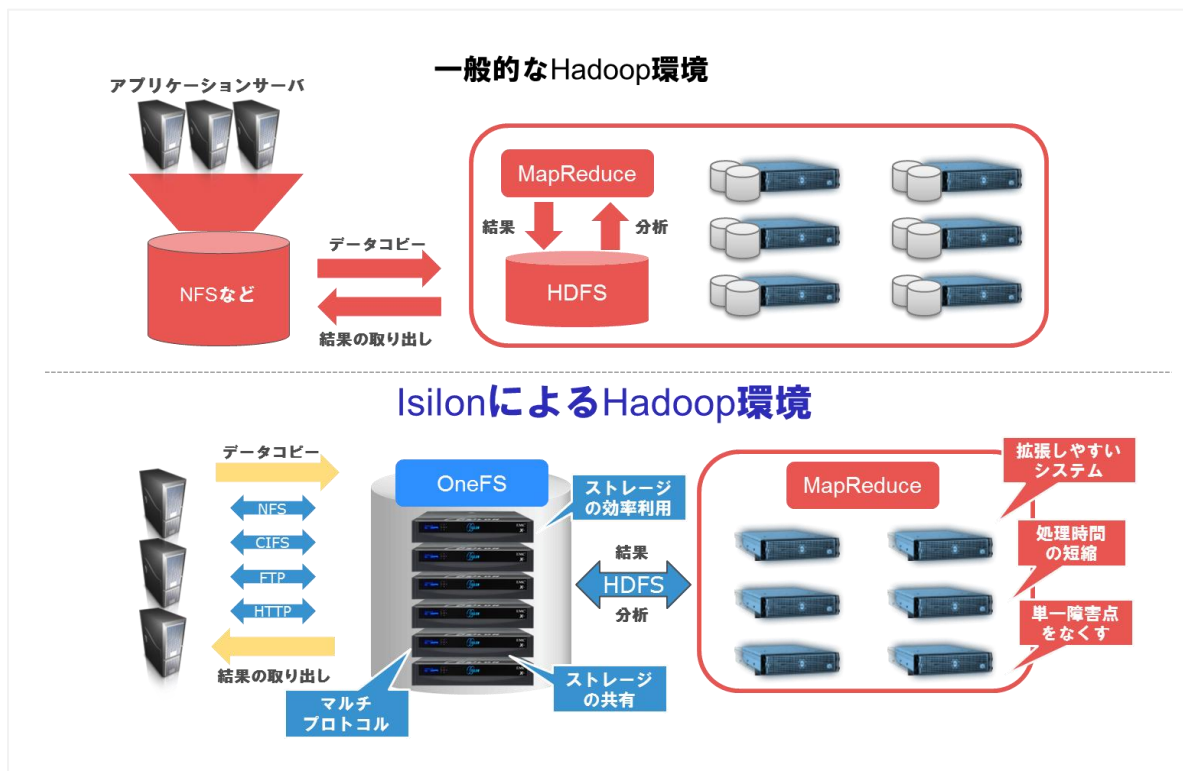
追加投資コストの削減、エンドツーエンドでのデータ保護、Hadoop 環境運用の容易性が可能となり、「EMC アイシロン スケールアウト NAS」を導入した顧客企業において、ビッグデータ解析プラットフォーム構築が容易となります。今後、当社とクリエイションラインは、京都大学と共同研究を行っている人工衛星観測情報の解析を本プラットフォームを活用し行って参ります。

■ 事業提携内容

「EMC アイシロン スケールアウト NAS」を使用した
ビッグデータ解析基盤「Hadoop プラットフォーム」の共同開発

■ 「EMC アイシロン スケールアウト NAS」を使った Hadoop プラットフォームイメージ

＜一般的なHadoop環境とEMCアイシロン スケールアウトNASを使ったHadoop環境の違い＞



<一般的なHadoop環境の課題とEMCアイシロン スケールアウトNAS環境のメリット 比較>

一般的なストレージ環境でのHadoop利用の課題		EMCアイシロンスケールアウトNASでのHadoop利用のメリット	
専用のストレージインフラ	Hadoopでの利用に限定される	スケールアウトストレージ	データの蓄積と共有（ファイルサーバー、ログ蓄積など）とHadoopによる解析、計算処理を同一ストレージ上で実施できる。 シングルネームスペースにより、計算ノードからの書き込みも各ノードに負荷分散される。またIsilon側にてWorkflowごとのプロテクションレベルを設定できる
単一障害点	ネームノードが単一障害点になる	単一障害点なし	各ノードにHDFSのネームノードを分散して格納することにより単一障害点がなくなる。
エンタープライズレベルのデータ保護	スナップショット、レプリケーション、バックアップがない	エンドツーエンドのデータ保護	SnapshotIQ, SyncIQ, NDMPでのバックアップが可能。
非効率なストレージの利用	3面ミラーでデータ保護	業界随一のストレージ利用効率	データをミラーリングではなく、各ノードに分割した上で分散して格納する為利用効率が高い。
拡張性がない	ストレージと計算リソースを切り離せない	柔軟な拡張性	計算サーバーとIsilon（ネームノード、データノード）を別々に拡張することにより分析アプリケーションに合わせたシステム拡張が可能。
構築/運用性	大規模システムになるほど多数のサーバーを構築、HDFSのインストール、管理する必要がある。	シングルネームスペース	ノードが増えても管理は単一システム、単一ボリュームで可能なため、運用がシンプル。
手動でのインポート/エクスポート	プロトコルのサポートなし	マルチプロトコル	業界標準プロトコルのサポート NFS, CIFS, FTP, HTTP, HDFS

注）現在リリースされているApache Hadoopの最新バージョンではネームノードの冗長化機能が搭載されております。

■ 各社代表からのコメント

クリエイションライン代表取締役社長 安田 忠弘氏は次のように述べています。

「近年、人工衛星や各種センサーなどの様々なデータを取得する技術は目覚ましい進歩を遂げており、取得できるデータは、その量とともに多様性も急激に増しております。一方、EMCアイシロンスケールアウトNASに代表される、ビッグデータを取り扱う技術の発達にも目を見張るものがあります。そのような時代に、ビッグデータに関する知見と多くの実績をお持ちのブロードバンドタワー様と事業提携をさせていただくことができ、大変うれしく思っております。今回の事業提携により、ビッグデータビジネスのさらなる発展に貢献していきたいと考えております。」

EMCジャパン代表取締役社長 山野 修氏は次のように述べています。

「EMC ジャパンは、ブロードバンドタワー様が Hadoop 基盤を実装した「EMC アイシロン スケールアウトNAS」の販売を開始されることを心より歓迎します。「EMC アイシロン スケールアウトNAS」は、Hadoop 環境において、増加し続けるデータ管理を簡素化すると同時に、大量の重要なファイルデータへの高速アクセスを実現します。ブロードバンドタワー様が有する優れた販売網とソリューション提案力で、革新的なビッグデータ・ソリューションを提供されることを期待しています。」

ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長 CEO 藤原 洋は次のように述べています。

「現在当業界ではデータセンターをデータバンク化することは非常に重要だと思っています。今回のクリエイションライン様との EMC アイシロンスケールアウト NAS を使用したビッグデータ解析基盤『Hadoop プラットフォーム』の共同開発と共同事業により、従来コンピュータの設置場所にデータを持ってきてデータ処理していた状況を一変させ、今後はデータを蓄積した側でデータ処理をすることが可能となります。このことによって、ビッグデータの解析効率を飛躍的に向上することができます。また、このたび実用化したサービスは、政府が目指す公共データのオープン化とその民間による利活用を本格的に推進する先駆けとなると期待しております。」

■ クリエーションラインについて

会社名： クリエーションライン株式会社

所在地： 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3-6M's WORKS BLDG 2F

代表者： 代表取締役社長 安田 忠弘

設立： 2006年(平成18年)1月

URL： <http://www.creationline.com/>

クリエイションラインは、クラウドプラットフォームに関する設計・構築を請け負った数多くの実績を有しています。また、enStratus、Scalr、Chefの国内唯一のパートナーでもあり、クラウドインテグレーションを提供する高度な技術者集団です。経済産業省「平成23年度医療・介護等関連分野における規制改革・産業創出調査研究事業(医療・介護周辺サービス産業創出調査事業)」や独立行政法人情報処理推進機構(IPA)からの受託事業として「クラウド運用管理ツールの基本機能、性能、信頼性評価」を実施した実績を持っています。

今後も、クリエイションラインは世界中のクラウドに関する情報を収集し、新規技術の開拓・提携により、国内で有益なクラウドソリューションを提供していきます。

■ EMCジャパンについて

会社名： EMCジャパン株式会社

所在地： 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿マインズタワー

代表者： 代表取締役社長 山野 修

設立： 1994年(平成7年)1月5日 ※日本法人

URL： <http://japan.emc.com/>

EMCジャパンは、情報インフラの卓越したテクノロジーとソリューションの提供を通して、日本のお客様の情報インフラの課題解決をご支援し、あらゆる規模のお客様のビジネスの継続と成長、さらにビジネス価値の創造に貢献致します

■ ブロードバンドタワーについて

会社名：株式会社ブロードバンドタワー

所在地：〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目3番2号 内幸町東急ビル

代表者：代表取締役会長兼社長CEO 藤原 洋

設立：2000年(平成12年)2月9日

URL：<http://www.bbtower.co.jp>

ブロードバンドタワーは、高度な運用技術と信頼性の高いハウジングサービス、インターネット接続サービス、およびクラウドサービスを提供しています。アクセスの良い都心にインターネットデータセンターをはじめとしたネットワークインフラストラクチャー資産を有し、インターネットサービス提供企業をはじめとした、多数の企業から高い信頼を得ています。またEMC社のEMCアイシロン スケールアウトNAS等のビッグデータ対応ソリューションを提供しています。

■ 関連プレスリリース

2012年11月6日発表

ブロードバンドタワー、京都大学と衛星情報ビッグデータ活用等に関する共同研究契約を締結

URL：<http://www.bbtower.co.jp/ir/pressrelease/2012/20121106.html>

■ 報道関係お問い合わせ先

株式会社ブロードバンドタワー マーケティンググループ 卯月基文

電話：03-5202-4810

FAX：03-5510-3432

E-mail: pr-ir@bbtower.co.jp

<http://www.bbtower.co.jp/>

※Hadoop(ハドゥーフ)とは

オープンソースソフトウェアとして公開されており、Apache Software Foundation(ASF)が開発している、大規模データを効率的に分散処理・管理するためのソフトウェア基盤(ミドルウェア)になります。

記載されている会社名及び商品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。